

# 第11回 CBI学会 個別化医療研究会

[日時]

2025年1月30日(木) 13:00~17:30

[会場]

国立大学法人 東海国立大学機構

Tokai Open Innovation Complex (TOIC)

岐阜サイト

(岐阜市柳戸1-1 OKB岐阜大学プラザ、岐阜大学バス停すぐ)



TOIC  
(Google map)

## 特別講演

13:05~13:50

演題名

祖先型遺伝子再現による生物の  
環境適応のデータサイエンス

講師

白井 剛 先生

長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部  
構造生物学研究室



## 一般講演

14:00~17:30

### 14:00-15:00 セッション1：機械学習、分子動力学計算、分子モデリング

1. 仲吉 朝希 (広島市立大学) 「電子伝達タンパク質フェレドキシンの溶液中における挙動の解析」
2. 大森 聡 (長浜バイオ大学) 「二面角系エラスティック・ネットワーク・モデルによるタンパク質構造変化予測法の開発と応用」
3. 松清 優樹 (九州工大、名大) 「深層強化学習による医薬分子構造の生成と最適化」
4. 丸山 颯太 (岐阜薬科大学) 「UpamostatによるDDI2阻害を基盤とした悪性リンパ腫治療の可能性」

### 15:10-15:50 セッション2：量子化学、分子軌道法、有機化学

5. 宇田川 太郎 (岐阜大学) 「H/D同位体効果を取り扱うための量子化学計算手法と応用計算」
6. 山口 英士 (岐阜薬科大学) 「計算化学によるハロゲン結合相互作用を介した分子変換反応の機構的解明」
7. 西川 琴美 (岐阜大学) 「Biuretおよびその類似化合物の分子内水素結合と骨格構造に対する原子核量子効果の理論的解析」

### 16:00-17:15 セッション3：バイオインフォマティクス、ビッグデータ、機械学習

8. 出来 佑都 (名古屋市立大学) 「名古屋市立大学病院受診患者におけるLong COVIDの実態調査:COVID-19患者を対象とした電話調査による症例対照研究」
9. 大西 亜依 (岐阜薬科大学) 「個別症例安全性報告データベースを用いた構造類似医薬品であるメトホルミンとイメグリミンの安全性シグナルの評価」
10. 郭 中梁 (愛知がんセンター) 「高精度なタンパク質間相互作用予測のためのマルチモーダル機械学習モデルの開発」
11. 松丸 直樹 (岐阜薬科大学) 「日本語医薬品名の英語変換におけるKNIMEを用いることの有用性の検証」
12. 宮坂 香海 (岐阜薬科大学) 「自己組織化マップを用いた抗精神病薬関連悪性症候群の評価」

## 情報交換会

17:30~19:30 (会費制)



参加登録は  
こちらから  
(無料)

(主催) CBI学会 個別化医療研究会

(後援) 岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科、

岐阜大学高等研究院 One Medicine トランスレーショナルリサーチセンター、

CBI研究機構、日本薬学会東海支部、岐阜県病院薬剤師会

問合せ先：岐阜大学大学院 連合創薬医療情報研究科 遠藤智史

TEL : 058-230-7607、E-mail : endou.satoshi.n1@f.gifu-u.ac.jp